

2021
2728

プラウド

ビジネスサポート事業部

宇野 杏子課長

Kyoko Uno

【プロフィール】

2006年3月株式会社プラウド入社
人材派遣部門にてドライバー手配・ドライバー業務を担当し、
現在は、ECに特化した物流部門の運営を行う

ご相談されるケースが多く感じます。何にしろ、特別な理由が無い限り、委託を検討する上で、数社の料金表を比較するということは、どのEC事業者様でも行っていることでしょう。自社の物流部門を担って頂くわけですから、納得いくまで物流会社と話し合い、社内内で選定されることをお勧めします。

【物流委託の料金表項目とその内容】

① 入荷作業料

入荷作業料とは、商品が倉庫に入庫する際、商品の受け取り、商品内容や数量の確認、入荷報告を行うまでに発生する料金を指します。

もし商品の検品が必要な場合には、検品作業料が発生します。検品については、商品によって何をどこまで見てほしいという「検品基準」があると依頼しやすいです。

また、一度に大量の商品がコンテナで入庫する際には、コンテナデバンニング料という料金が発生します。運送会社からの入庫の場合は、ドライバーが荷降ろししてくれませんが、コンテナで入庫する場合には、倉庫作業員が全て荷降ろしをしなければなら

ない為です。

② 保管料

保管料とは、商品在庫して発送する場合に発生する、倉庫利用料金を指します。倉庫会社によっては、入出荷作業場として商品を保管している部分と作業場を併せて保管料と呼んでいるところもあります。

保管料の単位も倉庫会社によって様々で、月単位の坪で表される場合と、期単位のパレットやPCS数で表される場合があります。受発注商品が多かったり、時期によって繁閑の差が激しいEC事業者様は、月単位ではなく期単位の従量制にした方が、安価になる場合もあります。

③ 出荷作業料

出荷作業料とは、商品を出荷する際に発生する料金を指します。出荷作業には、ピッキング・梱包の他、出荷指示データの授受、送り状や納品書などの帳票出力、出荷完了データの返却という作業があります。

その他、商品を梱包する際の緩衝材や段ボール、ラッピングなどの資材、配送料があります。物流コストで

一番大きな割合を占める配送料は、出荷数や出荷比率が把握できていると、シミュレーションしやすいです。

以上が一般的な物流費用となりませんが、出店サイトとの在庫連動を行う上で、倉庫会社のWMS(在庫管理システム)を勧められることもあるかと思えます。商品にJANコードと呼ばれるバーコードが付与されていて、商品管理をしている場合と、自社品番を付与されて商品管理をしている場合、事情は様々だと思いますが、販売数が増えれば商品アイテムも増えるので、ある時期に來ると、どのEC事業者様も検討されることだと思います。

開店当初は、必要最低限の販売管理があれば問題なく、アナログ管理も可能かと思いますが、売上規模が上昇する頃には、お早めにご相談下さいませ。

このように、取扱商品や販売方法によって、様々な業務が発生する為、御見積りの項目がバラバラになってしまうのです。本格的に物流会社の比較検討をされる際には、RFP(提案依頼書)をご用意頂き、商談を進められてはいかがでしょうか。